

# アレルギーアイ ふき取り用検査キット

## くるみ

### すすぎ水検査用マニュアル

## 1. 準備するもの

- リン酸緩衝生理食塩水

すすぎ水に使用する水道水中の残留塩素等の成分により感度が低下する場合がありますため、すすぎ水を10倍希釈して検査することをおすすめします。

また、洗剤、漂白剤、塩素等の成分が多量に含まれる場合は、10倍希釈したすすぎ水においても検出感度に影響が出る場合があります。そのときは、リン酸緩衝生理食塩水で20倍～50倍に希釈して検査試料とします。

- 希釈に必要な試験管やピペット

P3を参考に、必要なものを用意する。

## 2. クイックと同時に検査する場合の注意

- 本検査キットで検査するすすぎ水溶液には、専用の添加液を加える必要があります。添加液を加えた溶液にクイックのテストストリップは浸けることはできません。正しく検査できない場合があります。

クイックと同時に検査する場合は、添加液を加える前にクイックのテストストリップで検査し、残った溶液に添加液を加えてから、くるみのふき取り検査をしてください。

添加液の加え方はP6をご確認ください。

### 3. すすぎ水の採取

設備や器具などの洗浄後のすすぎ水を採取します。



※洗剤、漂白剤等の成分が多量に含まれる場合は検査できません。

### 4. 検査試料を希釈しふき取り用添加液を加える

すすぎ水をリン酸緩衝生理食塩水で10倍希釈して検査試料とします。



緩衝液 9mLにすすぎ水 1mLを加えて混合します。

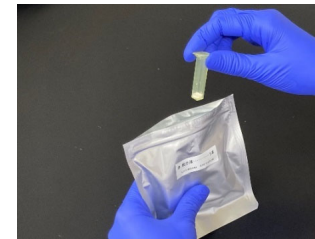
※希釈割合は例です。



調製した10mLの溶液に「ふき取り検査用添加液」1mLを加えよく混ぜます。

これを検査試料とします。

### 5. 検出液に検査試料を加える



1) 検出液（凍結乾燥）を袋から取り出します。

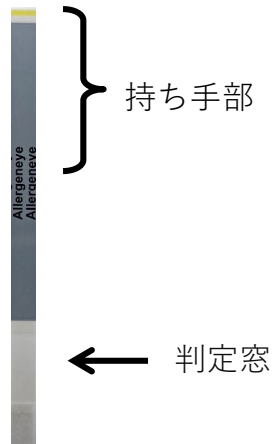


2) 検査試料100 $\mu$ Lを検出液に加えます。



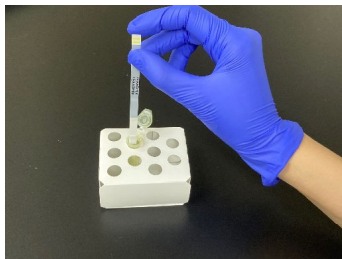
3) 検出液が完全に溶けるまで、**10秒以上**試験管ミキサーでかくはんします。

## 7. テストストリップを検査試料に差し込む



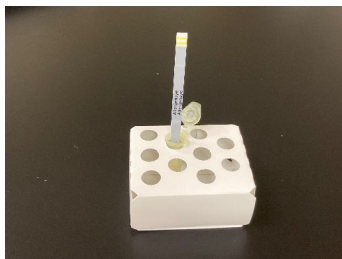
- 1) テストストリップを袋から取り出します。

持ち手部以外はさわらないでください。



- 2) 検査試料を加えた検出液のチューブにテストストリップを差し込みます。

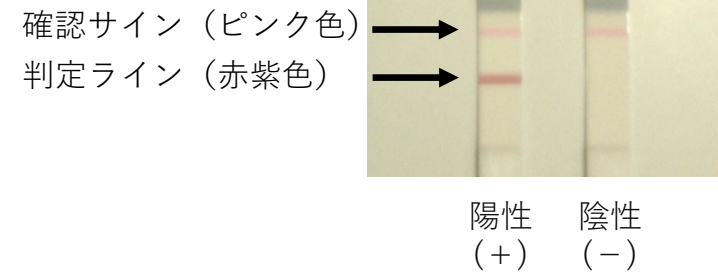
20分後に判定を行います。



テストストリップを差し込んだら、抜かずにそのままにして20分待ちます。

## 8. 判定する

20分後テストストリップを抜き取り、平面に置いて判定します。  
(机などに置く場合、濡れないようにラップを敷くなどしてください)



**陽性**：サンプル中に0.2ppm以上のアレルゲンが含まれる

**陰性**：アレルゲンが含まれていない、または検出感度未満

時間の経過とともに判定ラインの濃さが変化するので、20分以降は判定を行わないでください。

### 【注意事項】

- ・ 明るい所で判定してください。
- ・ 常に同じ場所で判定してください。
- ・ 慣れない間は、2人以上で判定してください。
- ・ テストストリップを入れてから20分で判定し、それ以降は判定を行わないでください。
- ・ 確認サインが現れなかった場合は、再試験をしてください。

## 9. 結果の記録・保管



**記入可能欄** 検査日やサンプル名、判定結果などを  
記入します。

**吸い取る** テストストリップ先端をティッシュ  
ペーパーで押さえて検査試料を吸い  
取ることで、反応が止まります。

結果の保管が必要な場合は、テストストリップを  
用紙にテープで貼り付けて保管します。保管中に  
判定ラインの濃さが変わることがありますので、  
20分後の判定結果を記入するなどして記録して  
ください。

## お問い合わせ先

プリマハムグループ



株式会社つくば食品評価センター

検査試薬事業部

〒300-0841 茨城県土浦市中向原635

TEL : 029-841-8950

E-mail : Allergeneye@primaham.co.jp